

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

	法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験	
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	16 年	3 年	11 年
	③ 障害種別の経験		<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	① 経営陣の理解促進	全障協など外部団体の活動や外部のセミナーに参加して収集した他社の事例や情報を役員会で共有	法改正などの情報を親会社、役員会に提供 採用計画、進捗、新たな取組などの活動を役員会で報告	企業グループの障害者雇用率改善に関する資料を作成し、親会社および役員会に提出、障害者雇用促進策を提案
	② 障害者雇用推進体制の構築	毎月責任者会議を開き障害者雇用に関する情報を共有	資格者の拡充 各業務ごとの指導員の適正配置 役割の明確化	指導員の育成
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	講習会の開催 社外の講習会などに参加 障害者雇用企業の見学	社外講師による管理者研修の実施	社内研修の実施
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	親会社の業務から障害者に合った業務を抽出し、新たな業務として獲得 常に新たな事業を模索	新たに外販事業を開始して職務を創出	親会社の業務から障害者に適した業務の切り出し
	⑤ 採用・雇用計画の策定	親会社と連携して、採用計画を策定	親会社への障害者雇用の働きかけ	切り出した業務に必要なスキルを定め、対応可能な障害者を設定
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	職場実習を活用 障害者面接に特化したチェックシートを利用	学校、支援機関との連携強化	職場実習の実施 求人票の作成 学校、支援機関への応募依頼 障害者採用面接
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	不調時の休みやすい体制づくり ジョブコーチ、相談員資格の取得促進	支援員、指導員の拡充	ジョブコーチ資格取得 ・各人の障害特性に応じた個別支援 ・職場のサポート体制支援
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	支援員を配置し、月1回の面談を実施 支援機関と連携して定着支援 精神科の産業医を契約	支援機関との連携強化	精神障害者の個別面談を実施 クリニックへの同行

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、2名以降の経験については別紙へ記載してください。

※(表面)1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

【過去3年間における実績】

- 援助の件数
  
- 支援業種
  
- 具体的な支援内容